

第七十三回
帝國議會
貴族院

不動産融資及損失補償法中改正法律案特別委員會議事速記録第三號

昭和十三年三月十一日(金曜日)午前十時
十六分開會

○委員長(男爵園田武彦君) 是ヨリ開會ヲ

致シマス、本日ハ大藏省所管ノ不動産融資
及損失補償法中改正法律案ノ質疑ヲ御願ヒ
致シタイト思ヒマス、此ノ法案ノ提案理由
ハ曩ニ御説明ニナリマシタノデスガ、政府
委員ノ御都合モアリマシテ、質疑ハ保留サ
レテ居リマシタカラ、今日ハ之ヲ先ヅ議題
ト致シマス

○小倉正恒君 此ノ不動産融資及損失補償
法ニ基キテ政府ハ今日迄ニドノ位損失補償
ヲ爲サツテ居リマスカ、ドノ位ノ金高デス
カ、極ク大體デ宜シイ

○政府委員(入間野武雄君) 只今迄ノ處マ
ダ少シモ補償ヲ致シテ居リマセヌ

○小倉正恒君 ソレデ實際融資ナサツテ居
ル状況ハドウ云フ風ニナツテ居ルカ、兎角銀
行ハ非常ニ堅キニ失スルヤウナコトニナリ
ハセヌカ、尤モ此ノ本法ガ濫用サレテ損失
補償スルヤウニナルノハ無論困ルノデスガ
ソレハ無論避クベキコトデアルト思ヒマス
ガ、併シ餘リニ又嚴重ニナルト云フト、法
ノ目的ガ達セラレヌデハナイカ、兎ニ角本

法制定ノ當時ニハ不動産金融デ一億圓迄ハ
補償スルヤウニ出來テ居ル、ソレガ今日迄
マダ少シモ補償ガナイト云フ所ヲ見ルト云
フト、モウ非常ニ極メテ安全ナモノバカリ
出テ居ルノデアツテ、果シテ餘リ堅實過ギハ
セヌカト云フヤウナコトヲ何トナシニ心配
セラレルノデスガ、サウ云フ點ハドンナモ
ノデアリマセウ

○政府委員(入間野武雄君) 小倉委員ノ御

尋ニ御答スルニ當リマシテ、此ノ法律制定
ノ當初カラノ理由及經過ヲ御報告致シタイ
ト思ヒマス、御承知ノ通り、此ノ不動産融
資及損失補償法ハ昭和七年ノ制定ニ係ツテ
居リマスコトハ、皆サン能ク御承知ノ通り
デアリマス、當時ニ於キマシテハ打續ク經
濟界ノ不況ノ爲、都市ト云ハズ、農村ト云
ハズ、可ナリ疲弊困憊シテ居リマシテ、全
國ニ互リマシテ時局匡救、農山漁村救済ノ
聲ガ翕然トシテ起ツテ參ツノデアリマス、
斯クノ如キ情勢デアリマシタガ爲ニ、銀行
ナドニ於キマシテモ、其ノ貸付ガ固定致シ
マシテ、所謂不動産貸ノ額モ相當多クツタ
デアリマス、昭和六年末ノ銀行貸出ノ不動
産抵當貸付額ヲ見マスルト、十四億五千萬

圓ノ巨額ニ上ツテ居リマス、經濟界不況ノ
爲ニ貸付金ノ回收モ意ノ如クナラズ、預金
モ左迄殖エテ居リマセヌ爲ニ、銀行ノ手許
ガ逼迫シテ參リマシタノデ、此ノ銀行ノ手
許ノ逼迫シテ居ルノヲ緩和スル目的ヲ以テ
金融ノ梗塞ヲ打開シ、金融ノ圓滑ヲ圖ル目
的ヲ以テ此ノ法律ガ制定セラレタノデアリ
マス、爾來經濟界ノ情勢ヲ見マスルト、御
蔭ヲ以チマシテ漸次好調ニナツテ參リマシ
テ、或ハ一面ニ於キマシテ低金利ノ政策ガ
行ハレ、或ハ又昭和七年以來ノ所謂農村匡
救事業ガ全國津々浦々ニ普及致シマシタガ
爲ニ、地方ニ於キマシテハ現金收入モ相當
多クナリマシテ、從ヒマシテ銀行ナドノ預
金モ増シテ參リ、手許モ幾ラカ樂ニナツテ
參リマシタ、更ニ又不動産等ノ値上リ等モ
アリマシテ、單獨ニ整理シ得ルモノモアリ
マシタ爲ニ、當初ノ豫定デハ五億圓ト豫定
シタノガ、到底ソコ迄出マセヌデ、其處ニ
多分資料トシテ差上ゲテアルト存ジマス
ガ、過去六箇年ニ五千四百四十餘萬圓シカ出
ナイノデアリマス、ガ併シナガラ、見様ニ依
リマシテハ大變金額ノ出方ガ少イヤウデア
リマスルケレドモ、又斯ウ云フ種類ノ金ガ出

マスルト云フコトハ、結局銀行ノ手許ガイツ
迄モ苦シイト云フコトニ基因スルノデアリ
マシテ、寧ロ斯ウ云フ金ガ出ナイデ、銀行
ノ手許ガ樂ニ行キマスルコトガ望マシイコ
トデアリマシテ、此ノ法律制定以來出マシ
タ額コソ少イノデアリマスルガ、色々ノ事
情ノ變化等ニ依リマシテ、只今ニ於キマシ
テハ銀行ノ手許モ樂ニナリ、此ノ法律ニ依ッ
テ貸出シマスル額モサウ多キヲ必要トシナ
イヤウナ情勢ニナリマシタ、現ニ昨年ノ
如キハ、一箇年ヲ通ジマシテ二百九十餘萬
圓デアリマシテ、三百萬圓ヲ切レルヤウナ
貸出状況デアリマス、ヨク不動産銀行ノ方
ニ於キマシテ價格ノ査定ガ嚴格ニ過ギルト
カ、手續ガ煩瑣デアルト方申シマスガ、斯
ウ云フ點ニ付キマシテハ、私共銀行局ニ奉
職致シテ居リマスル者ハ常ニ銀行ヲ戒飭致
シマシテ、斯クノ如キコトノナイヤウニト
努メサセテ居リマス、此ノ金ノ餘リ出マセ
ヌデシタノハ、寧ロサウ云フコトヨリモ、
事情ノ變化ガ左迄當初ノ豫想シタ程必要デ
ナイト云フ事情ニ依ツテ出ナカッタノダト考
ヘテ居リマス、而シテ只今ノ處、昭和十二
年末ニ於キマシテ殘ツテ居リマスルノガ三

年ノ巨額ニ上ツテ居リマス、經濟界不況ノ
爲ニ貸付金ノ回收モ意ノ如クナラズ、預金
モ左迄殖エテ居リマセヌ爲ニ、銀行ノ手許
ガ逼迫シテ參リマシタノデ、此ノ銀行ノ手
許ノ逼迫シテ居ルノヲ緩和スル目的ヲ以テ
金融ノ梗塞ヲ打開シ、金融ノ圓滑ヲ圖ル目
的ヲ以テ此ノ法律ガ制定セラレタノデアリ
マス、爾來經濟界ノ情勢ヲ見マスルト、御
蔭ヲ以チマシテ漸次好調ニナツテ參リマシ
テ、或ハ一面ニ於キマシテ低金利ノ政策ガ
行ハレ、或ハ又昭和七年以來ノ所謂農村匡
救事業ガ全國津々浦々ニ普及致シマシタガ
爲ニ、地方ニ於キマシテハ現金收入モ相當
多クナリマシテ、從ヒマシテ銀行ナドノ預
金モ増シテ參リ、手許モ幾ラカ樂ニナツテ
參リマシタ、更ニ又不動産等ノ値上リ等モ
アリマシテ、單獨ニ整理シ得ルモノモアリ
マシタ爲ニ、當初ノ豫定デハ五億圓ト豫定
シタノガ、到底ソコ迄出マセヌデ、其處ニ
多分資料トシテ差上ゲテアルト存ジマス
ガ、過去六箇年ニ五千四百四十餘萬圓シカ出
ナイノデアリマス、ガ併シナガラ、見様ニ依
リマシテハ大變金額ノ出方ガ少イヤウデア
リマスルケレドモ、又斯ウ云フ種類ノ金ガ出

千二百餘萬圓ト相成ッテ居ルヤウナ譯デア
リマス、然ラバサウ云フ風ニ出ナカタナラ
バ、此ノ法律ノ期間ヲ延長シナクテモ宜イ
デハナイカト云フ御議論モアルト思ヒマス
ルガ、併シナガラ是ハ出マセヌト申シマシ
テモ、斯ウ云フモノガアリマスレバ、地方ノ
銀行ナドノ小サイモノハ安心致シテ居リマ
シテ、若シ事ガアツトラ、其處ニ世話ニナレ
ルト考ヘテ居リマスコトト、又個々ノ銀行
ニ付テ見マスルト、尙不動産貸ニ多ク偏シ
テ居ルモノモアリマスルシ、殊ニ事變下デ
モアルノデ、此ノ際延期致シタイト云フコ
トニ致シテ、御審議ヲ願ッテ居ルヤウナ次第
デゴザイマス

○小倉正恒君 只今銀行局長ノ詳細ナル御
説明デ能ク了承致シマシタ

○中村圓一郎君 只今局長ノ御説明デ分リ
マシタガ、實ハ私モ伺ヒタイコトガアリマ
ス、ソレハ御説ノヤウニ參ッテ居ラス、要ス
ルニ大藏省ノ御考ヨリハ手續上ガ大分違ッ
タノガアリマス、其ノ例ヲ言ヒマス、甲ノ
銀行カラ勸業銀行ヘ肩替ヲ致スト云フ場合
ニ、更ニ其ノ甲ノ銀行ヲ保證人ニ立テナケ
レバ、是ガ出來ナイ、自分ノ方デ擔保ヲ取ッ
テ居ッタモノヲ、ソレヲ金ノ都合ガ悪クテ、
勸業銀行ヘ肩替ヲスルト云フ時ニ、勸業銀

行デハ此ノ補償法ニ依リマスカラ、別ニ其
ノ銀行ノ保證ハ要ラヌト思ヒマスケレドモ、
保證シナケレバ取ッテ呉レナイ、是ガ其ノ一
ツノ障リトナッテ居リマス、殊ニ又見方ガ強
イ、見方ガ強イ爲ニ、寧ロ自分ノ銀行ニ取ッ
タモノヨリハ尙安ク考ヘル、是ハ事實ニ付
テ申上ゲテモ宜シウゴザイマスケレドモ、
餘リ偏リマスカラ、ソレハ止メマシテ、大
體ニ於テ甲ノ銀行ヨリ勸業銀行ヘ肩替ノ場
合ニハ、勸業銀行ハ其ノ銀行ノ保證ヲ要ス
ルト云フコトガ一ツノ障リニナッテ居ルト思
テ居リマス、是ハ全ク保證シナケレバ融通
ハサセヌヤウニナッテ居リマスカ、其ノ點ヲ
伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(入間野武雄君) 只今中村委員
ノ或ハ恐ラク御經驗ニ基ク御質問カト思ヒ
マスガ、勸業銀行ガ非融資銀行ノ保證ガナ
ケレバ貸出ラシタイト云フコトハ、實ハ私
共ハ初メテ承リマシタノデ、サウ云フコト
ハシテ居ナイダラウト考ヘテ居リマス、或
ハ特殊ノ例デハナカラウカト存ジテ居リマ
ス、尙其ノ點ハ篤ト調査致シマシテ、保證
ガナクトモ是ハ貸シ得ル制度ニ相成ッテ居
リマスノデスカラ、左様ナコトノナイヤウ
ニ將來注意致シタイト存ジテ居リマス

○中村圓一郎君 尙伺ヒタイトデスガ、只
今ノハ實際ノ實例ガアリマスカラ、申上ゲ
タノデアリマシテ、尙御調ヲ願ヒタイトノデ
スガ、更ニ又勸業銀行ヘ向ッテ或債務者ガ整
理ニ付テ色々示談ヲ申込ムト云フ場合ニ、
勸業銀行デハ、是ハ斯ウ云フ際デアアルカラ、
特別ナ事情ノ下ニ、幾分カ事情ヲ斟酌シテ、
サウシテ債務者ノ爲ニ便宜ヲ圖ツテ宜シイ、
ケレドモ、一ツ茲ニ融資ヘ關係シテ居ル者
ガ幾分カノ損害ガ行クト云フ場合ニ、會計
検査院ト思ヒマシタガ、會計検査院デ何シ
ナケレバ出來ナイノデアアルカラ、ソコデ折
角ノ話ダケレドモ、サウ云フコトハ出來ナ
イ、寧ロ勸業銀行單獨ノ貸借デアレバ、或
ハ債務者ノ希望ニ應ジテ茲ニ幾分ノ利子ヲ
負ケルナリ、若シクハ其ノ債務者ノ事情ヲ
斟酌シテ、同情ヲスルト云フコトモ出來ル
ケレドモ、是ハ出來ナイ、斯ウ云フ建前ノ
下ニ債務者ハ非常ニ迷惑ラシテ居ル、是ハ
ドウ云フモノデセウカ、斯ウ云フコトヲ一
ツ伺ッテ置キタイ

○政府委員(入間野武雄君) 此ノ不動産融
資及損失補償法ニ依リマスル借入ラシテ居
リマシタ場合ニ於キマシテ、御示シノ如ク
整理ラシタイト云フヤウナ希望ガアリマシ
テモ、此ノ法律ナルモノハ國家ガ補償シテ
ヤッテ居リマス關係上、損失ヲ來シマシタ場

合ニハ、不動産融資損失審査會ニ掛ケマシ
テ、其ノ議ヲ經テ損失ヲ決定スルコトニ相
成ッテ居リマス、只今迄ノ處餘リ損失ニ關ス
ル申出ガアリマセヌノデ、未ダ不動産融資
損失審査會ノ成立ヲ見テ居リマセヌ、他日
必要ノアリマス場合ニハ、此ノ審査會ヲ作り
マシテ、其ノ議ニ掛ケテ損失額ヲ決定シテ
參リタイト、斯様ニ存ジテ居リマス

○中村圓一郎君 只今ノ御話デ分リマシタ
ガ、此ノ法案ハ假令金額ハ總體ニ少イ迄モ、
實ハ是ハ延長シタ方ガ宜シウゴザイマシテ、
將來萬一ノ場合ニ對シマシテモ、此ノ案ガ
アリマスレバ、非常ニ金融ニ携ッテ居ル者ハ
心強ク考ヘマスカラ、此ノ案ニハ異議ガア
リマセヌケレドモ、但シ兎角此ノ取扱上嚴
格ニ失シテ圓滿ヲ缺イテ、急ナ場ニ合ハナ
イト云フ憾ミハ今迄モアツタノデアリマスカ
ラ、尙將來トモ之ヲ存続スル以上ハ、一層
之ヲ御注意ヲ願ッテ置キマセヌト云フト、矢
張り銀行ニ於テ是ナラバ貸シテ置イテモ大
丈夫ダト云フモノナラバ、勸業銀行ヘ引繼
ガ出來マスケレドモ、ドウモ少シ危イ、寧
ロ斯ウ云フモノヲ持ッテ居ルヨリハ、此ノ
債務ヲ勸業銀行ヘ肩替ラシテ、幾分カ金融
ノ便モ圖リ、又銀行ノ信用ヲ増シタイ、或
ハ何處カニ多額ノ不動産所謂金融ラシテ居

合ニハ、不動産融資損失審査會ニ掛ケマシ
テ、其ノ議ヲ經テ損失ヲ決定スルコトニ相
成ッテ居リマス、只今迄ノ處餘リ損失ニ關ス
ル申出ガアリマセヌノデ、未ダ不動産融資
損失審査會ノ成立ヲ見テ居リマセヌ、他日
必要ノアリマス場合ニハ、此ノ審査會ヲ作り
マシテ、其ノ議ニ掛ケテ損失額ヲ決定シテ
參リタイト、斯様ニ存ジテ居リマス

テ、ソレガ金ガ寝テ居ッテ動カナイト云フヤ
ウナ噂ヲ立テラレルコトハ、地方銀行ハ信
用ニモ關係シマスカラ、ソレヲ勸業銀行ニ
移シマスコトハ、非常ニ銀行ノ爲、又地方
ノ取引者ノ信用上ニ對シテモ宜イノデアリ
マスガ、ソレガドウモ思フヤウニ出來マセ
ヌ、又其ノ場合ニハ保證ヲ立テテ、其ノ銀行
ガ勸業銀行デ審査シテ受取ツクモノニ對シ
テ又其ノ銀行ガ保證スルト云フナラバ、何
ニモ勸業銀行ニ御願シナイデモ、自分ノ銀
行ニ置イテモ差支ナイ、矢張り却テ金ハ向
フヘ移ツテモ、債務ノ保證サヘ立ッテ居リマ
スレバ、矢張り信用状態ニハ相變ラズ別ニ
信用ヲ害スルト云フコトハナイヤウデアリ
マス、仍テ能ク是ハ御考慮ノ上、今少シク
實地ヲ御調ノ上、本當ニ此ノ法律ヲ活動ス
ル、法律ガ活キテ來ルト云フ時代ニ、何レ
近キ時代ト思ッテ居リマスカラ、其ノ時代ニ
出來ルダケ金融状態ノ圓滑ヲ圖リマスカウ
ナコトニ御考ヲ願ヒ、又勸業銀行等ヘモ御
話置キヲ願ヒタイト存ジマス

メタイト存ジテ居リマス
○委員長(男爵園田武彦君) 他ニ御質疑ハ
ゴザイマセヌデセウカ
○中村團一郎君 私ノ質問ハアリマセヌ
○委員長(男爵園田武彦君) 御質疑ガナイ
ヤウデアリマスカラ、農林省所管ノ産業
組合中央金庫法中改正法律案外三件ニ對シ
マシテ、尙御質疑ガアレバ、御願ヒ致シマ
ス
○中村團一郎君 農林大臣ハ御出ニナリマ
セヌデスカ
○委員長(男爵園田武彦君) 農林大臣ノ御
出席ヲ御要求ニナリマスカ
○中村團一郎君 御出デ願ヘレバ、大變都
合ガ宜イト思ヒマス
○委員長(男爵園田武彦君) 只今中村委員
ヨリ農林大臣ノ御出席ノ御要求ガアリマシ
タガ、只今御出席ニナリマシタカラ、中村
委員ノ御質疑ヲ願ヒマス
○中村團一郎君 特ニ御繰合セノ上大臣御
出席ヲ願ヒマシテ誠ニ有難ウゴザイマス、
私ノ質問ハ簡單デアリマスカ、チョット大臣
ノ御考ヲ承リタイト思ヒマス、一昨日ノ委
員會ノ時ニ産業組合自治監査法案ニ付キマ
シテ御尋シタノデアリマスカ、其ノ時分ニ
一度御答ヲ得テ居リマスカ、此ノ産業組合

ト中小商工關係、所謂反産ノ聲ガ大分各所
ニ高クナッテ居リマス、特ニ静岡ニ於キマシ
デハ一昨年昨年茶業問題デ重大ナ摩擦ガ起
リマシタ、縣ニ於テモ兩方大會ヲ開クト云
フ迄來ツクノヲ、幸ヒ知事ノ斡旋其ノ他有力
ノ者ノ仲裁デ漸クニシテ只今安定ヲ得テ居
リマスカ、産業組合ガ總テノ事ノ統制ヲ執
リマスコトハ宜シウゴザリマスカレドモ、
茶ノ如キモノハ世界ノ需要ヲ控ヘテ居リマ
シテ、殊ニ相當ナ技術ヲ要スル、或ハ三重
ノ品或ハ山城ノ品若シクハ九州ノ品或ハ靜
岡ノ品ト云フモノヲ始終混和シテ商品化シ
テ、海外ヘ出シテ居ルノデアリマス、ソレ
ヲ産業組合ガ一手ニ纏メマシテ、之ヲ貿易
市場ニ出サウト云フコトハ、技術ノ巧妙者
或ハ矢張り商人ヲ使ハナケレバ、出來ナイ
ノデ、其ノ結果昨年ハ大分多額ノ失敗ヲシ
タヤウニ聽イテ居リマス、更ニ茲ニ承リタ
イコトハ、最近滿洲ヘ産業組合ハ販路ヲ求
メテ、サウシテソレヘ政府カラ補助金ヲ貰
ヒタイト云フコトヲ今計畫シ、既ニ出願シ
テアリマスカウニ聽キマシタ、此ノ茶業
ハモウ五十年以上ノ歴史ヲ持ッテ居リマシ
テ、立派ナ規定、規則モ設ケラレテ、輸出
貿易、總テノ茶ニ對スルモノハ統制ヲ執ッテ
居リマスカレドモ、此ノ際滿洲ヘ茶ヲ賣リ

マスト云フ爲ニ、一ツノ出張所ガ出來テ、
ソレヘ對シテ茶業關係カラ補助ヲ貰ヒタイ
ト云フコトヲ出願サレマシタ場合ニハ、政
府ニ於テハ其ノ補助ヲ出シマスカドウデス
カ、是ハ私思ヒマスノニ、今迄ノ歴史ハ農
林省ヨリ中央會ノ手ヲ經マシテ總テ仕事ヲ
シテ居ルノデアリマス、若シソレヲ産業組
合ナルガ故ニ、直接御交付ニナルト云フコ
トニナリマスト、此ノ統制ガ案レマシテ、
數十年來ノ歴史ガ統制ガ執レナクナルノデ
ヤナイカ、故ニ斯ウ云フ際ニ於キマシテ、
農林省ニ於キマシテハ、農林省豫算ノ中ヨ
リ此ノ産業組合或ハ縣購聯ト云フヤウナモ
ノニ對シマシテ、滿洲ヘ出張所ヲ出シタ者
ヘ對シマシテノ補助ヲ御交付ニナルヤ否
ヤ、又最近承ル所ニ依リマスト云フト、相
當ニ話ガ進ンデ居ルト云フヤウニ聞キマシ
テ、非常ニ當業者モ、當業者ト云フノハ組
合關係ノ者デス、組合ノ今迄ノ統制ガ案レ
ルト云フコトニ於テ心配ヲシテ居ルノデア
リマス、是非此ノ點ニ付キマシテ一應大臣
ノ御意見ヲ承リタイ、又此ノ自治監査法デ
アリマスカ、是ハ主トシテ會計筋ノヤウニ
承知シテ居リマスカ、是レ以外ニ産業組合
ガ或ハ地方ニ於キマシテ中小工業者、當業
者トノ摩擦ガ起リ、ソレガ延イテ色々ナ運

此ノ法律制定ノ精神ニ鑑ミマシテ、十分努
○政府委員(人間野武雄君) 中村委員ノ仰
セノコトハ御尤ト存ジマス、從來トテモ私
共此ノ法ノ運用ノコトハ十分留意致シテ參リ
マシタ、尙將來トモ御示シノ點ニ鑑ミ、又
此ノ法律制定ノ精神ニ鑑ミマシテ、十分努

動ニナリマシテ、非常ナ問題ヲ起スコトガ
多々アルノデアリマスガ、此ノ經營方法ニ
付キマシテノコト迄能ク調査シテ、之ヲ一
ツノ軌條ニ載セテ仕事ヲサセルト云フヤウ
ナコトノ何カ方法ハアリマセヌカ、此ノ委
員迄、自治監査ニ對シマシテ此ノ人ガ失

リマス、此ノ點ニ付キマシテノ御考ハ如何
デアリマセウカ、ソレカラ是ハ聯合會デア
リマスケレドモ、是へ入ラナイ者ハドウ云
フヤウニナリマセウカ、此ノ點ニ付テ甚ダ
恐入リマスガ、大臣ノ御考ヲ承リタイト思
ヒマス

○國務大臣(伯爵有馬頼寧君) 滿洲トノ關

張リサウ云フコト迄兼ネテヤルヤウナコト
ニハナリマセヌカ、モウ一ツハ、モウ是ハ
閣下御承知ノ如ク、産業組合、信用組合ノ
地方ノ當事者ハ、多ク其ノ人ノ信用ヲ重シ
ジテ、成ルベク安イ報酬、中ニハ名譽職的
ニ仕事ヲサセテ居ルノデゴザイマス、ソレ

係ニ於ケル産業組合ノ茶ノ輸出ニ付キマシ
テノ補助金ノ問題ノヤウデスガ、ソレハ私
マダ其ノ事ガドウ云フ風ニナッテ居リマス
承ッテ居リマセヌノデ、今ハッキリ御答へ申
上ゲ兼ネマス、從來ノ方針ト違ッタヤリ方ヲ
スルヤウナ話ニ只今御述ニナリマシタガ、

へ向ッテ嚴重ナ制裁ヲ設ケマシテ、檢査ヲシ
テ、又不法ノ事ガアリマスレバ、之ニ對シ
テ返金ヲサセル、或ハ相當ノ責任ヲ脊負ハ
セルト云フヤウナコトハ、ドウモ困難ナヤ
ウニ思ッテ居リマス、矢張り本當ニ有給ノ人
ヲ入レマシテ、サウシテ仕事ヲサセルト、

アリマス、當局ノ事務ノ方ノ其ノ事ニ關ス
ル經緯ナリ、意見ナリヲ聽キマシテ、善處
シタイト考ヘテ居リマス、第二ノ自治監査
ノ問題デアリマスガ、自治監査聯合會ト云
フモノガ出來マシテ、自治監査ヲ致シマス

ト云フト、大分上ノ方ニハ相當ナ報酬、給料
等ガ給サレテ居ル、上ニ重クテ下ニ輕イヤ
ウナコトヲ聞イテ居リマスガ、是ハ下ノ方
ニモ相當ノ有給ノ吏員ヲ各字、各村等ニ置
キマシテ、サウシテ本當ニ責任ヲ持クシテ
仕事ヲスルト云フコトガ却テ此ノ監査法ノ
仕事ヲ活スヤウニナリハセヌカト思ッテ居

ノ中ニ色々金銭上ノ間違ト云フヤウナモノ
モ多少アルヤウデアリマスルシ、又違法ト
云フ程ノコトデナクテモ、産業組合トシテ

慎マナケレバナラナイヤウナ事柄モアラウ
ト思ヒマスノデ、産業組合側ニ於キマシテ
自治的ニサウ云フモノヲ、監査機關ヲ設ケ
マシテ、國ノ監査ト併行シテ之ヲ行ッテ行カ
ウト云フ意味デ出來タノデアリマス、從ッテ
産業組合ノ堅實ナ發達ヲ圖ルト云フ爲ニヤ
ルノガ主デアリマスカラ、主トシテ經營上

バカリデナシニ、産業組合ノ關係者ト云フ
モノガ從來奉仕のナモノダト云フ風ナ觀念
デ進ンデ參リマシタケレドモ、私ハ産業組
合ト云フヤウナ經濟的ナ仕事ヲ致シマス團
體トシテ、必ズシモ奉仕的ナ、所謂犧牲ヲ拂ッ
テ無給デヤラナケレバナラヌト云フヤウナ
考ヘ方ハ、私ハ採ラナイノデアリマシテ、
ソレモ一方ニ保證ト云フヤウナコト、或ハ
若シ組合ガ他ニ對シテ負擔ヲシナケレバ
ラヌト云フヤウナ場合ニ、當然其ノ役員ナ
ドガ其ノ危險ヲ負ハナケレバナラヌト云フ
ヤウナ關係ニモアルノデアリマスカラ、是
等ハ唯無給デ社會奉仕ト云ツクヤウナ觀念
デ從事セシメルコトハ無理ダト思フノデア
リマシテ、其ノ點ハ中村サンノ仰シヤルコ
トト大體御同感ナンデアリマス、ソレカラ
之ニ入ッテ來ナイヤウナ者ハドウスルカト
云フヤウナ御話デアリマスガ、是ハ極力此
ノ聯合會ガ出來マスレバ、獎メテ之ニ加入
セシメマシテ、總テノ産業組合ガ此ノ監査
ヲ受ケテ、國ノ指導ヲ受ケ、中央會ノ指導
ノ下ニ、産業組合本來ノ使命ヲ踏ミ外サナ
イヤウニ進行セシメテ行クト云フ意味カラ
モ、總テノ産業組合ヲ網羅シテヤルト云フ
方針デ進ンデ參リタイト思ッテ居リマス

ノ監査ヲスルコトガ主デアリマス、從ッテ只
今御示シナリマシタヤウナ産業組合ノ經
營方針トカ云フヤウナコトヲ指導スルト云
フヤウナ意味ノモノヲ持ッテハ居リマセヌ
ガ、併シ當局ニ於キマシテ其ノ全國ニ互ル
産業組合ノ監査ノ報告ト云フヤウナモノヲ
集計致シマシタ結果ハ、産業組合ノ將來ノ
向フベキ方針ト云フヤウナモノヲ決定スル
上ニ於テ、ソレガ矢張り參考トモナリ、其
處ニ自信ガ生マレテ來ルンダラウト思ヒマ
スカラ、其ノ監査ニ從事致シマス者ハ、直
接ニ産業組合ノ指導ニ當ルト云フヤウナコ
トハゴザイマセヌデモ、其ノ監査ノ結果ト
云フモノガ自ラ産業組合全體トシテノ指導

方針デ進ンデ參リタイト思ッテ居リマス

ノ問題デアリマスガ、自治監査聯合會ト云
フモノガ出來マシテ、自治監査ヲ致シマス
ト云フコトノ主タル仕事ハ、從來産業組合
ノ中ニ色々金銭上ノ間違ト云フヤウナモノ

○中村圓一郎君 モウ一度伺ヒタイトハ、

同感デアリマシテ、單ニソレハ監査ノ仕事

同感デアリマシテ、單ニソレハ監査ノ仕事

大分世間デモ、此ノ産業組合ニ特ニ色々免
税點ガアルヤウデアリマスガ、之ヲ同ジヤ
ウナ工合ニ税ヲ課シテハドウカト云フ聲ガ
大分高マツテ参リマシタガ、是ハ産業組合モ
ニ發達ヲシテ來タヤウデアリマス、尙此ノ
特別ハ引續イテ致サスケレバナラスモノデ
アリマセウカ、或ハ或程度迄發達ラズレバ、
同ジヤウナ振合ニ課税ヲサセルト云フヤウ
ナ御考ハナイデアリマセウカ、甚ダ自分ダ
ケノ例ヲ申シテ何デアリマスガ、茶ノコト
デアリマスガ、茶ノ如キハ當業者ト同ジヤ
ウナコトヲ致シマシテ、非常ニ茶業ノ中小
業者ノ摩擦ヲ買ッテ居ルノデアリマスガ、其
ノ場合片方ハ税ガ無い、片方ハ有税デア
ルト云フコトデ、静岡デモ大分サウ云フ問題
ガ起ツクコトガアリマスガ、之ニ對シテドノ
程度迄御進ミニナリマスレバ、コ、ニ初メ
テ此ノ特別ハ御解キニナル、或ハ終始何處
迄行ツテモ矢張り現在ノ姿ニ置カナケレバ
ナラスト云フ御考デアリマスガ、其ノ點ヲ
伺ヒタイト思ヒマス

云フコトガ實際ニ取上ゲラレルト云フヤウ
ナ空氣ニデモナツテ参リマスヤウナ時ガ假
ニアルト致シマスレバ、其ノ場合ニハ何等
カ考ヘルコトガアルカモ知レマセウカ、只
今ノ處特ニ産業組合ノ從來ノ特典ト云フヤ
ウナモノヲ除去スルト云フ考ハ持ッテ居リ
マセウカ、最近ニ出來マスル諸種ノサウシタ
産業組合ト稍、類似シタヤウナ組合ト云フヤ
ウナモノニ對シマシテモ、多ク何等カノサ
ウ云フ特典ガ與ヘラレテ居ルノガ例ノヤウ
デアリマスガ、若シ産業組合ト同ジヤウニ
特典ニ與カルコトガ必要デアルモノガアリ
マスレバ、是等ノ方ニ特典ヲ與ヘルト云フ
コトノ方ガ考ヘラレルカト思ヒマスガ、産
業組合ノ方ノ特典ヲ取ルト云フヤウナコト
ニ付キマシテハ只今ノ處考ヘテ居リマセウ
カ

○中村圓一郎君 能ク大臣ノ御指示ハ分リ
マシタガ、尙繰返スヤウデアリマスガ、例
ノ産業組合ノ滿洲ヘノ進出問題デアリマス、
是ハ組合トシテハ至極、茶業家トシテハ少
シデモ販路ヲ擴ゲタイト云フコト、此ノ點
ニ付テハ誠ニ賛成デアリマスケレドモ、其
ノ補助ヲヤル場合ニハ、ヤルカヤラスカ、
大臣ハ御考ガナイヤウデアリマスガ、若シ
サウ云フ場合ガ來タトシマシテモ、尙茲ニ
中央會ト云フモノガアリマシテ、大體農林

省ノ統轄ノ下デ輸出貿易總テノ點ニ付テハ
統轄ヲシテ統制ヲ取ッテ居リマスカラ、是非
サウ云フ場合ガアリマシテモ、一應中央會
ヲ經マスヤウニ御考慮ヲ御願シタク存ジマ
ス

○國務大臣(伯爵有馬賴寧君) 御指示ノ點
ハ拜承致シマシテ、能ク取調ベマシテ、考
慮致シタイト思ヒマス

○中村圓一郎君 モウ私ノ質問ハ是デ濟ミ
マシタ

○小倉正恒君 大臣ノ御意見ヲ伺ヒマス、
此ノ漁村ハ今日最モ疲弊シテ居ルヤウニ見
テ居リマス、漁村ノ救済ト云フコトハ大切
ノコトト思ヒマス、漁村ノ此ノ改正案等ニ
依ッテ金融ヲ圓滑ニシテ、漁村ノ經濟更生ヲ
圖ルト云フコトハ最モ緊要ノコトト思ヒマ
スガ、併シ更ニ又深く考ヘテ見マスルト云
フト、ドウモ水産所謂漁村ノ疲弊ノ大原因
ハ、ドウモ生産物ガ貯藏ニ適セス、又生産
者ガ方々ニ分散シテ居ッテ統一ガナイ、從ッ
テ需要者ニ對シテ餘程弱イ立場ニアル、從ッ
テ此ノ生産物ノ販賣上餘程不利益ヲ受ケテ居
ルト云フヤウナコトモ大ナル原因デナカラウ
カ、金融ノ圓滑ヲ圖ルコトモ必要デアリマスル
ガ、併シ又更ニモウ一ツ根本ニ遡ッテ、サウ云
生産物ニ付テノ販賣上ノ施設ト云フヤウナ

コトモ考ヘル必要ガアルノヂヤナイカ、御
承知ノヤウニ、水産物ノ價格ハ全ク市場ニ
於ケル需要供給關係ノ強弱ニ依ッテ、所謂弱
肉強食ト云フヤウナ状態ノヤウニモ思ヒマ
ス、又收獲ガ天然自然ニ支配セラレルコト
ガ多イモノデアリマスカラ、所謂豐作飢饉
ト云フヤウナ工合デ、澤山魚ガ獲レルガ、
却テ利益ガ少イト云フ風ナコトニナリマシ
テ、漁業者ハ非常ニ不利益ヲ受ケテ居ルヤ
ウニ考ヘルノデアリマス、是等ヲ何トカ救
濟ヲシテ、ドウ云フ方法ガ宜イノカ、或ハ
何カ皆協同セシメテ貯藏ヲスルトカ、或ハ
其ノ貯藏ヲスルニ適切ナ施設ヲ助ケテヤ
ル、マア今日ハ餘程水産工業モ發達シテ居
リマシテ、適當ナ設備ヲ設ケマシテ、相當
貯藏モ出來ルヤウニ處置致シテ居ルノデア
リマス、何かサウ云フ風ナコトヲスルト
ヲ設ケルトカ、價格ト云フコトニ付テ少シ
御考慮ヲ拂ッテ戴イタラ、ドウデアラウカ、
ソコ等ニ對スル御意見ヲ何フコトガ出來マ
スレバ、誠ニ結構ト思ヒマス

○國務大臣(伯爵有馬賴寧君) 小倉サンノ
御質問、誠ニ御同感デゴザイマシテ、漁村ニ
於キマシテ從來漁獲ノ方ニハ相當進歩ヲ致
シテ居リマスケレドモ、其ノ獲リマシタモ
ノヲ有利ニ販賣スルトカ、或ハ必要ナ品物

ヲ安ク買フトカ云フヤウナ、サウ云フコト

ニハ非常ニ缺ケテ居ッタト思フノデアリマ

シテ、其ノ結果ガ所謂漁業共同組合ト云フ

モノガ出来マシテ、ソレニ依ッテ有利ニ販

賣シ、成ルベク有利ニ購買スルト云フ機關

ヲ設ケタノデアリマス、ソレガ資金其ノ他

ノ關係上、十分ニ活躍スルコトガ出来ナカッ

タ憾ミガアルノデアリマス、今回産業組合

中央金庫ニ、漁業組合聯合會及共同組合ト

云フモノガ加入致シマスコトニ依ッテ、ソコ

ニ金融ノ途ガ開カレ、バ、共同組合ノ活躍

ト云フモノヲ豫期シ得ルト思フノデアリマ

スガ、ソレ等ニ依リマシテ所謂漁獲物ヲ有

利ニ販賣スルト云フコトヲ自然ニ出来得

ルヤウニナルカト考ヘマス、一方ニ從來カ

ラ問題ニナッテ居リマス中央魚市場ノ問題

ニ付キマシテハ、生産者ノ利益ト云フモノ

ガ現在ノ處十分保護サレテ居リマセヌ、此

ノ問題ニ付キマシテハ、商工農林ノ兩省ノ

間ニ於キマシテ協議ヲ進メテ居リマスガ、

容易ニ解決致サナイヤウナ狀況ニナッテ居

リマスガ、成ルベク速カニ此ノ問題ヲ解決

致シマシテ、所謂生産者側ノ利益ガ確保出

來マスルヤウニ、少シデモ改メタイト云フ

風ニ考ヘテ居リマス

○小倉正恒君 イヤ能ク分リマシタ、御説

明デ了承致シマシタ

○子爵伊集院兼知君 只今農林大臣カラ誠

ニ結構ナ、私ガ非常ニ心配シタ事ニ付テ、矢

張り非常ニ御心配ヲ以テ農林省ト商工省ノ

間ニ御話合ガ進ミツ、アルト云フコトヲ承ッ

テ、私ハ非常ニ感謝致シマス、ト申シマス

コトハ、漁業ノ生産者ガ販賣スベキ都市迄

持ッテ來マス其ノ間ノ値段ニ付テ考ヘテ見

マスルト、殆ド輸送業者ト、ソレカラ問屋

業者、ソレカラ小賣販賣人、是ガ魚ノ値段

ノ大部分ヲ占メテシマウノデアリマシテ、

只今ハドウカ知りマセヌガ、私ガ關係シテ

居リマシタ時分ニ、四錢デ下關ニ入ッテ來タ

魚ガ、東京デ十八錢デ賣買サレテ居ルノデ

アリマス、サウスルト、十四錢ト云フモノ

ガ生産者以外ノ人ガ取ル金ニ當ルノデアリ

マス、鐵道省トモ色々運賃ナンカラ掛合ッテ

見マシテモ、魚ト云フモノハ健康上非常ナ

必需品デアルニ拘ラズ、高級品トシテ扱ハ

レル爲ニ、非常ニ高イ稅ヲ取ラレル、今仰

セラレル通り、問屋ノ手數料ト云フモノハ、

是モ非常ニ割高ニナルヤウナ組織ニ考ヘラ

レルノデアリマス、今承ッタコトヲ私ハ非常

ニ大臣ニ感謝スルト同時ニ、モウチット漁業

者ノ爲ニ十分力ヲ盡シテ戴キタイト思ヒマ

ス、御考ハドウ云フ風ニシテイラシヤイマ

スカ、ソレヲチョット伺ッテ置キマス

○國務大臣(伯爵有馬頼寧君) 伊集院サン

カラノ只今ノ御話、漁村ノ實際ノ漁獲ニ從

事致シマス者ガ随分危険ヲ冒シテ色々ヤッ

テ居ルノデアリマスガ、其ノ勞苦ニ報ヒラ

レルダケノコトガナク、只今小倉サンガ仰

シヤイマシタヤウニ、實際ニ澤山獲レタト

云フ時ハ、ソレハ獲レタコトガ喜ビデア

バカリデ、結局ソレガ實際上ノ利益ニナラ

ナクテ、他ノ者ノ利益ニ占メラレテシマウ

ト云フコトガ多イト思フノデアリマス、從

來農林省ト致シマシテ、農村ノ方面ニ付キ

マシテハ、ソレ等ノコトヲ、農村民ノ生産

者ノ利益ヲ確保スルト云フコトノ爲ニ、色々

ナ機關ヲ設ケ、制度ヲ施行シテ、大分其

ノ點ガ改メラレテ參ッタト思フノデアリマ

ス、唯山村、漁村ニ付キマシテハ、稍、ソレ

ガ手遅レニナッテ居ッタ感ガアルノデアリマ

シテ、今後ハ一般農村ノ人々ニ對シテ執リ

マシタ事柄ヲ、ヤリ方ハ變リマススケレドモ、

漁村ヤ山村ニ對シテモ行ヒマスコトガ、農

林省トシテノ主タル仕事、ト云フコトハ語

弊ガアリマススケレドモ、カラ注ガナケレバ

ナラナイ方面デアラウト考ヘマスノデ、御

意見モゴザイマシタ今後漁村ノ實際ノ漁業

ニ從事スル人々ノ利益ヲ少シデモ確保スルト

云フコトニ對シマシテ、十分ニ努力致シタ

イト思ヒマス

○委員長(男爵園田武彦君) 農林大臣ハ會

期切迫ノ折御繁忙デアラレマスルカラ、農

林大臣ニ對シテノ御質疑ガゴザイマスレバ、

此ノ際續イテ御願ヒ致シマス、別ニゴザイ

マセヌカ

○中村圓一郎君 ゴザイマセヌ

○委員長(男爵園田武彦君) 後ニ政府委員

ニ對シテ御質疑ガゴザイマセヌデセウカ

○子爵伊集院兼知君 アリマセヌ

○委員長(男爵園田武彦君) 別ニ御質疑ガ

ナイヤウデアリマス、ソレデハ不動産融資

及損失補償法中改正法律案外四件ニ對シマ

スル質疑ハ之ヲ以テ終了致シタモノト認メ

テ、御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(男爵園田武彦君) 御異議ナイト

認メマス、ソレデハ是ヨリ討論ニ入りマス

○子爵伊集院兼知君 此ノ改正案ハ主ナル

點ハ私ノ考ニ依ッテハ漁村ニアルカノ如ク

ニ思ヒマスガ、是ハモウ當然ノ改正案ト私

ハ思ヒマス、願クハモット之ヲ大キクシテ、

漁業ト云フモノニ對シテ當局ハ金融モ十分

ニ途ヲ附ケテヤッテ、サウシテモウ土地ハ迎

モ駄目デスカラ、海洋ニ向ッテ漁業ノ發展

ヲ策シ、國家ノ爲ニ十分ナ利益ヲ擧ゲテ戴キタイト思ヒマス、其ノ意味ニ於テ此ノ法案ハ非常ニ私ハ贊成致シマス

○佐々木八十八君 私ハ當委員會ニ御付託ナリマシタ各法律案等ニ付テ問ハムト欲スル所モゴザイマシタケレドモ、當委員會ニ於ケル質問應答ヲ拜聽致シマシテ、又衆議院ニ於ケル此ノ法律案ニ對スル速記録ヲ通讀致シマシテ、私ガ聽カムト欲スル所ハ皆論議シ盡サレテ居リマスノデ、會期切迫ノ折柄同ジャウナコトヲ質問申上ゲルノモドウカト存ジマシテ、私ハ先刻カラ皆サンノ御希望等モ拜聽致シテ居リマス點カラ見マシテモ、時節柄機宜ニ適シタ各法案ト存ジマシテ、原案通りニ贊成ヲ表スル者デアリマス

○中村圓一郎君 同感、モウ各案全部贊成デアリマス

○小倉正恒君 贊成

○委員長(男爵園田武彦君) 是ヨリ採決ヲ致シマス、不動産融資及損失補償法中改正法律案外四件ハ、政府提出原案通り御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(男爵園田武彦君) 御異議ナイヤウデアリマス、本案全部全會一致ヲ以テ可

決スルコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(男爵園田武彦君) 本案ハ全部政府提出原案通りニ可決セラレマシタ、之ヲ以チマシテ本委員會ハ終了ヲ告ゲマシタ、散會ヲ致シマス

午前十一時十四分散會

出席者左ノ如シ

委員長 男爵園田 武彦君
副委員長 子爵西大路吉光君
委員 侯爵佐竹 義春君
子爵伊集院兼知君

中村圓一郎君
小倉 正恒君
佐々木八十八君

國務大臣

農林大臣 伯爵有馬 賴寧君

政府委員

大藏省銀行局長 入間野武雄君
農林省水產局長 三宅發士郎君
農林省經濟更生部長 小平 權一君
農林書記官 石黒 武重君

昭和十三年三月十一日印刷

昭和十三年三月十二日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局